



令和 7 年

## 第 4 回 名寄市議会定例会行政報告

名 寄 市

---

---

はじめに	1
“市民と行政との協働によるまちづくり”	2
・市民主体のまちづくりの推進	2
“自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり”	3
・消防	3
“生きる力と豊かな文化を育むまちづくり”	3
・大学教育の充実	3
・生涯スポーツの振興	4

---

---

本日、令和7年第4回定例会の開会にあたり、これまでの主な行政事項について、その概要をご報告申し上げます。

## はじめに

はじめに、本年度の文化賞など、各種表彰について申し上げます。

11月3日の文化の日に、名寄市文化賞条例に基づき、「福祉部門」、「障がい者福祉の向上」で社会福祉法人なよろ陽だまりの会に文化奨励賞を授与いたしました。

なよろ陽だまりの会は、障がいのある方たちの「職業」と「生活」を支援することで、「働く喜び」と「地域で生きる力」を育て、「自ら社会参加」することで自立した活動を進めていくことを目的に、平成26年に設立された法人です。その活動は、昭和38年に保護者の会である「名寄手をつなぐ親の会」が発足したことから始まり、現在の「名寄心と手をつなぐ育成会」に受け継がれ、同法人と育成会との両輪で事業を拡大してきました。

法人設立後は、市内8カ所にグループホームを開設し、利用者の自立した生活を支援するほか、市指定ごみ袋の製造や市内高齢者への配食サービスを実施するなど、障がいのある方たちの継続的な就労の支援のみならず、地域に欠かせない事業を提供してきました。

こうした長年に渡る実績と、「名寄心と手をつなぐ育成会」との協

働によって、本市を含む上川地区の地域福祉の向上に大きく貢献した団体として評価され、今回の受賞に至りました。

名寄市表彰条例に基づく各表彰については、自治、社会福祉、保健衛生、住民運動実践の各分野で市勢の発展に寄与された 16 個人の皆様に功労表彰を、多額の寄附をいただいた 9 個人、38 団体に善行表彰をそれぞれお贈りいたしました。

受賞された皆様には、今後とも本市の発展にご尽力を賜りますとともに、より一層のご活躍とご健勝を願っております。

## **“市民と行政との協働によるまちづくり”**

### **市民主体のまちづくりの推進**

次に、総合計画について申し上げます。

次期総合計画策定に向けては、10 月 15 日に「名寄市総合計画審議会」へ第 3 次名寄市総合計画の策定について諮問し、11 月には 2 回の「市民ワークショップ」において、本市の現状の課題や魅力について意見を出し合い、理想の将来像について議論してきました。

また、各団体や市内の小学生から大学生に対しても、各教育機関のご協力をいただきながら、アンケート調査を実施するとともに、意見交換会などを実施しました。

次期計画の策定にあたっては、市民アンケートの結果などを踏ま

え、進めてまいります。

## **“自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり”**

### **消防**

次に、消防事業について申し上げます。

10月1日から、救急搬送時にマイナ保険証を活用し、傷病者の医療情報を救急隊が確認できる「マイナ救急」の運用を開始しました。

この取組により、意識障害や付き添いがない場合でも、救急隊が保険資格情報や薬剤情報などを迅速に把握でき、より正確な病状確認と救急活動の質が向上しています。

10月末までの救急出動件数は118件で、このうち「マイナ救急」を活用した事案は20件で全体の17パーセントでした。

現場でのカードリーダーの認証は概ね円滑で、得られた医療情報は正確に医療機関へ情報伝達が行われています。

## **“生きる力と豊かな文化を育むまちづくり”**

### **大学教育の充実**

名寄市立大学の公立大学法人化に向けて、可能な限り早期に広く教職員の理解を得ることを目的に、9月24日に名寄市立大学教職員を対象に公立大学法人制度説明会を開催するとともに、10月1日付

けで総合政策部内に大学法人化準備室を設置しました。

また、定款や中期目標・中期計画、人事・給与、財務全般などを新法人へ円滑に移行することを目指し、大学や地域関係団体の代表者、有識者などで組織する「名寄市立大学法人移行推進委員会」を設置しました。令和9年4月の法人移行に向けて、国や北海道の指導・助言をいただきながら着実に準備を進めてまいります。

## **生涯スポーツの振興**

次に、生涯スポーツの振興について申し上げます。

本年6月28日に設立したNスポーツコミッションなよろにおいて、事務局長1人、トレーナー人材2人が欠員となっていたところですが、10月1日付け人事異動で本市職員2人を派遣するとともに、11月10日にはトレーナー人材として地域おこし協力隊1人を採用し、フルメンバーでの活動が始まりました。

スポーツを活用した地域づくりへの貢献を大いに期待するとともに、将来ビジョンを共有しながら地域と一体となり、スポーツ振興に取り組んでまいります。

以上、主な行政事項について、その概要を申し上げ報告といたします。